

## 企画事業

# 「教職員スキルアップセミナー」

～なすかしの森で体験を通しての学びの充実～

## 事業の概要

**事業のねらい** 教師にとって指導力を向上させることは重要な責務である。教科指導はもちろん、生活指導や食育も含め、「なすかしの森」での体験活動を生かした指導法を学び、児童生徒への教育的効果を高める。

**期 日** 平成22年8月5日(木)

**会 場** 国立那須甲子青少年自然の家

**対 象 者** 幼稚園・小・中学校教員，教育行政関係者

**参加者数：募集人数** 97名(100名程度)  
(幼稚園4名、小学校59名、中学校34名)

**講 師** 輿水 かおり氏(国語科：東京都港区立青南小学校 校長)  
一寸木 肇氏(理科：神奈川県大井町立上大井小学校 校長)  
手塚 勝男氏(図画工作科：栃木県那須塩原市立大山小学校 校長)  
湯本 勝洋氏(総合的な学習の時間：ミュージアムパーク茨城県  
自然博物館主任学芸員)  
犬塚 文雄氏(特別活動：横浜国立大学人間科学部 教授)  
太田 猛彦氏(講演：東京大学 名誉教授)

## 日 程

9:15 ～ 9:35 受 付	9:40 ～ 9:50 開講式	10:00 ～ 12:00 ワークショップ A～E	12:00 ～ 13:00 昼 食	13:00 ～ 15:00 ワークショップ A～E	15:15 ～ 16:45 講 演	17:00 ～ 17:10 閉講式
-----------------------	-----------------------	------------------------------------	-------------------------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------

## プログラム紹介



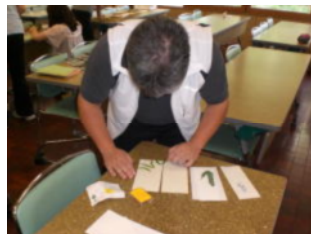
### 【国語科】

なすかしの森での体験活動を生かした言語活動  
ハイキングをとおして、  
国語科の言語活動の指導法について学びました。



### 【理科】

なすかしの森を生かした  
理科学習  
ネイチャースコープや顕  
微鏡、デジタルカメラの  
効果的な活用について、  
学びました。



### 【図画工作科】

自然の中で学ぶ図画工作  
身近にある材料を使った  
葉書作りやバーナイフ作  
りについて、学びました。



【総合的な学習の時間】  
身近な生き物から自然環境を調べる  
あまり知られていない土中生物の生態や昆虫採集の方法について学びました。



【特別活動】  
人間関係・仲間づくり  
野外で行える小集団体験活動を通じた人間関係づくりについて学びました。



【講演会】  
森をととして自然環境を考える  
日本の森の現状と、森林をととして環境教育の新たな視点について、お話していただきました。

#### 企画・運営のポイント

平成23年度からの新学習指導要領の完全実施に向けて、現場の第一線で活躍し、教科書編集にも携わっている先生を招聘し、学習指導要領改定の趣旨を踏まえ、当所のフィールドでの体験活動を生かしたプログラムを企画した。  
集団宿泊体験活動やセカンドスクールで活用できるように、なすかしの森を生かした教科指導を体験してもらい、教師自身の技能を高め、資質の向上を図るためのプログラムを企画した。  
より多くの教科を体験できるように午前と午後にそれぞれ1教科選択できるようにプログラムを設定した。  
当所の利用のねらいが自然体験活動であることから、「森」について考え、「森をととして」環境教育を考えてもらうための講演会を企画した。

#### 事業を終えて (成果と課題)

各ワークショップとも、平成23年度から完全実施される新学習指導要領の趣旨に沿った内容を中心とした講義・演習を実施したことで、参加者は、改訂の趣旨を再確認することができた。  
実際に当所で実施したセカンドスクールで、今回のセミナーをもとに2校で国語科、理科の授業が行われた。  
参加者に実際になすかしの森で体験活動をする中で、体験活動を生かした教科学習の指導法や指導技術を習得する機会を提供することができた。  
講演会をととして、参加者の「森」の見方、環境教育の視点について、再考する機会を提供することができた。  
教科担任制である中学校教員を考慮した、他の教科、領域での講義・演習の開設について、協議、検討する必要がある。  
じっくり学びたい、詳しく学びたいという要望もあり、時間の制約、参加者の幅等を考慮しながら、内容・日程を検討していきたい。

#### 今後の方向性

来年度は、他の教科、領域での研修について協議、検討する必要がある。